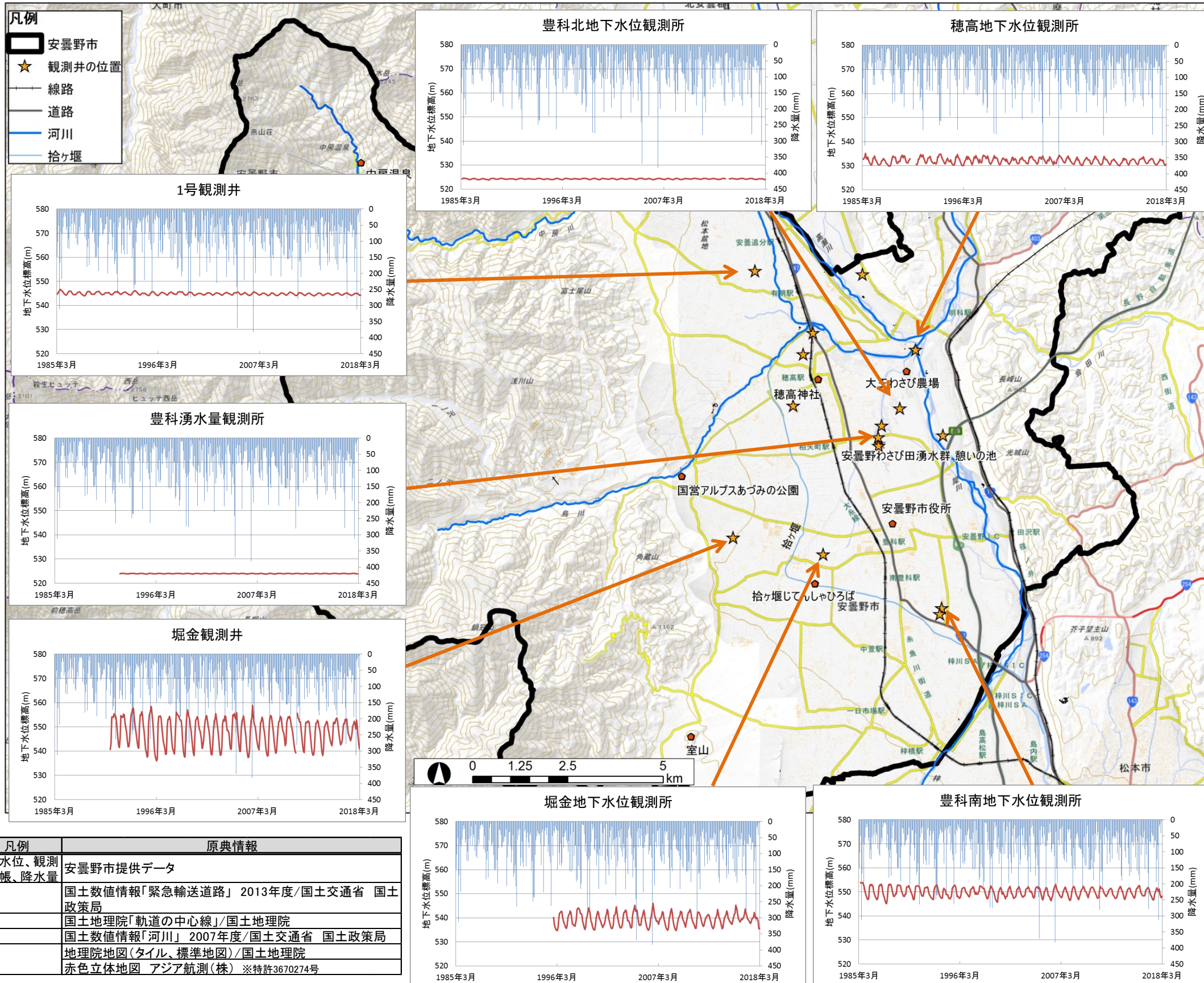


図5：安曇野市の地下水位観測結果（安曇野市では地下水位の観測井戸を設置して長期間の地下水の高さの観測をしています。ここでは地点毎の特徴を見てみましょう。）



- ・安曇野市では学校の敷地内などに地下水を測る井戸を設置して、長期間の地下水の高さの変動を調べています。
- ・左図のグラフに示した赤い線が地下水の高さ(標高)の変動を示しています。
- ・グラフの上から下に向かって伸びている青い棒グラフは、雨の量を示しています。
- ・地下水の標高は、その場所の地面の高さによって変わることがわかります。
- ・地面の高さが低い「穂高地下水位観測所」や「豊科北地下水位観測所」、「豊科湧水量観測所」では地下水の標高が520～530mと低く、水位の変動も小さくなっています。
- ・扇状地の真ん中あたりに位置する「1号観測井」や「掘金地下水位観測所」では、地下水の標高が530～550mとやや高くなります。
- ・地面の標高が高い「掘金観測井」や「豊科南地下水位観測所」では、地下水の高さが540～560mと高くなっていて、扇状地の高い場所にある「掘金観測井」では、冬に大きく地下水位が下がり、夏に大きく上がるという特徴的な変動を示します。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第194号)」

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第192号)」
 (第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない)

凡例	原典情報
地下水位、観測井台帳、降水量	安曇野市提供データ
道路	国土数値情報「緊急輸送道路」2013年度/国土交通省 国土政策局
鉄道	国土地理院「軌道の中心線」/国土地理院
河川	国土数値情報「河川」2007年度/国土交通省 国土政策局
背景	地理院地図(タイル、標準地図)/国土地理院 赤色立体地図 アジア航測(株) ※特許3670274号

△注意！必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。